



学塾通信 12月号 (第120回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11月3日(木)・23日(水)は祝日ですが授業があります。
11月29日(火)・30日(水)は授業調整日です。通常授業はありません。

早いもので学塾通信も12月号をお届けする時期になりました。

私立中学入試・共通テストまであと1ヶ月、私立高校入試までのこり2ヶ月、そして公立高校一般選抜まであと3ヶ月です。

入試を目前に控えた皆さんに伝えたいことは「気持ちの持ち様」です。受験校の対策を十分行い、入試当日は「これまでしっかり準備をしてきた。だからどのような結果であっても受け入れる。」という前向きな気持ちで臨みましょう。

今年で塾に携わり21年目ですが、進学する学校には「縁」があるような気がしています。「人事を尽して天命を待つ」という言葉がありますが、一生懸命に努力をしてきた受験生ほど、自分に縁のある学校に進めているようです。自分との戦いを制し、最後まで粘り強く頑張っ、みなさんが縁のある学校に進学できることを望んでいます。

11月26日(土)が高校受験生対象の塾長講座の最終回となり、それ以降は直前特訓として最後の仕上げを行います。直前特訓の場でも改めて伝えますが、知識・教養は自分の身を守る、生きる力だと私は考えています。定期的に行ってくる中学受験・高校受験・大学受験で、多くの方は勉強を受験やテストと結び付けがちです。しかし、本来、知ること・学ぶことは自分自身を豊かにするためのものです。学塾10期生のみなさんは、今は受験に向けての勉強を全力で頑張る時期ですが、受験が終わった後しばらくは自分の興味がある学びを深堀して行ってほしいと思います。

ちなみに、学塾講師の塩月先生(みなさんの先輩、学塾の卒塾生です。)は大学でアリの研究をしています。中学3年生の時に遺伝を学んだことが今の研究の原点だそうです。みなさんのきっかけも案外近くにあるかもしれませんよ。

みなさんは入学直後からコロナの影響を受けた世代です。当初思い描いたような3年間ではなかったかもしれません。本当に大変でしたね。よく乗り越えてここまでできました。

だからこそ、今年は例年にも増して全員合格への想いが強いです。

全員が志望する学校に合格し今年度の受験を終えましょう！



○冬期講習会・入試直前特訓について

この冬も冬期講習会・入試直前を実施します。申し込み〆切は12月3日(土)です。

高校受験生は必須参加です。今年度受験生のみなさんは最後の特別講座です。入試に直結する内容に取り組みます。この講座で完成させるつもりで臨んでください。

高2生、中2生、小5生(受験生)のみなさん、いよいよ受験生と呼ばれる日が近づいてきました。受験に臨むにあたってのポイントはたくさんありますので、これからひとつずつ伝えていきます。

受験学年を迎える前の冬休みにやっておきたいことは、これまでに学習してきたことの復習です。

忘れていた知識を思い出し、苦手な単元を克服して受験学年を迎えましょう。

冬期個別講習会(非受験生～高校3年生)・中学受験特別講座・高校受験直前特訓の案内をお配りしています。高校受験生には塾長講座の際に内容を説明しています。

非受験生の講座については、冬にコロナの第8波が来ることを前提に、例年の半分の席数で準備をしています。密にならないよう生徒ごとの間隔を広げ、2教室で運営をしても受験生には支障が出ないように対応することを考えての措置です。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

☆小学生☆

ハロウィンイベントに多くの参加者が来てくれて、私たちも嬉しかったです。自習60時間分のクジが6日間で無くなるという大盛況ぶりでした。(1時間自習をするとお菓子が当たるクジを1枚引くことができるというシステムです。)5日連続で頑張ってお習に来してくれた人もいました。

今回のイベントで、子どもたちの取り組み方が大きく変わる姿を見て、私たちにもまだまだできることがあることに気づかされました。普段の授業や関わり方も工夫していきたいと思えます。

なお、次回のイベントはクリスマスに実施する予定です。

☆中学受験生☆

○6年生

いよいよ統一日までのカウントダウンが始まります。近年の中学受験を見ていると、初日から3日目までで試験を終える生徒がほとんどです。自主学習においては「当日まで何をすればよいのだろう？」と気になる時期だと思います。

迷ったときは、これまで解いてきた問題集をもう一度解き直すのがよいです。

本番では、解くべき問題を落とさないことが最も重要になります。解くべき問題というのは、これまでやってきた問題集レベルの問題になります。

解くべき問題とそうでない問題の見極めについては、9月からずっと入試問題をこなしてきているので上手になっています。これまでやってきたことを総チェックする意味で、問題集を解き直してみましよう。

○出願の際、願書を書き間違えたときの対応について

基本的には間違えた箇所に2重線を引いて、訂正印を押せば大丈夫です。

(修正液や修正テープだとどこかに張り付いて剥がれたりする恐れがあります。)

願書を書き間違えたからといって、受験できないとか、不合格になるということはありません。

万が一不備があった場合には、願書に記入した連絡先に電話がかかってくる。

○4・5年生

中学受験コースは中学入試の時期が1月のため、学塾の他コースより早く2月が新年度となります。

5年生のみなさんも入試まであと1年2ヶ月です。6年生の9月からはそれぞれの志望校対策ができる進捗で考えています。そのため、これまで学んできたことを反復練習するようにしておいてください。

新5年生の3教科受験者は算数・算数・国語・理科の週4コマとなります。

日時の調整をよろしくお願い致します。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

11月20日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

☆中学1・2年生☆

中学1年生の2学期中間テストの学年平均点は、例年通り大きく下がりました。

保護者のみなさまも驚いたのではないのでしょうか。ここが踏ん張りどころです。このままずるずると落ちていかないよう、期末テストでは巻き返しを図りたいです。

そのためには、「知識を正確に理解する」「正確に解答できるように練習をする」「提出物を早めに仕上げる」の3つがポイントになります。

普段の授業の中でも気になることがあれば補習等に声をかけるようにしています。通常授業以外でも塾に足を運ぶのは大変かと思いますが、ここが大切な時期なので頑張ってもらいたいです。

中学2年生のみなさんには10分テストのアプリによる実施を考えていました。

しかし、アプリを登録する過程で上手く進まずに体験期間が終わってしまいました。次年度は10分テストを幅広い学年で実施をしたいと考えているため、他の方法を検討中です。

中学2年生のみなさんも1年後には受験校を決めることとなります。今から少しずつ情報収集をしていきましょう。

まずは聞いたことがある学校のホームページを見てみることから始めてみてください。

並行してテスト前以外の自主学習の時間を確保していくことにもチャレンジしてください。(自主学習で取り組む内容は相談に乗ります。)

☆高校受験生☆

入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

これからは受験をする学校でどのような問題が出題され、入試本番で何点をとることが必要なのかを分析していく時期になります。入試を迎えるまでに、入試当日、試験開始の合図が鳴った直後からどのように問題を解いていくのかをイメージできているレベルまで持っていくことが目標です。

定期テストとは違い、入学試験は100点をとることを目標にするテストではありません。合格点を一点でも上回ることが目標です。まずはこの意識転換が必要です。(必ずしも、学校の偏差値＝問題の難易度になっているわけではありません。)私立専願のひとつであれば10年分ほど、公立高校を志望するひとつでも予想模試を含めて10年分ほど実践演習を積みますので、そのなかで取るべき問題を見極めることができるようにしていきましょう。

○入試直前特訓について

入試直前特訓は12月24日(土)が初日です。13時開始です。
持ち物は筆記用具のみです。よろしくお願い致します。

冬以降の特別講座は入試直前特訓・英作文対策講座・C問題対策と3つの講座を準備しています。このなかで優先順位が一番高いのは入試直前特訓です。英作文対策講座・C問題対策は強化したい単元をピンポイントに指導するので、C問題出題校を受験するひとつには受講していただくことをおすすめ致します。学習状況を見てこちらからも提案させていただきます。
不明な点がございましたら、教室まで連絡下さい。

○保護者様からの質問にお答えします。

「入試直前特訓のコース変更はできますか?」という質問を毎年受けます。例えば、公立の一般選抜を考えていたが、学校の懇談の後に私立専願になったため、直前特訓を公立の一般選抜ではなく私立にコース変更できるかどうかということです。

➡コース変更できます。進路の状況に合わせて対応させていただきますのでご安心ください。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト

12月11日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

必須回の最終です。11月・12月の結果を見て、公立校の出願校を決めます。

○塾長講座の予定

11月の塾長講座の予定(最終回)

11月26日(土)

14時55分～19時00分

塾長講座について

1月から実施してきた塾長講座は11月が最終回となるため今回が最終回です。

中学3年生のみなさん、昨年の12月から1年間ありがとうございました。みんなよく頑張りました。

この講座を実施した理由は3年前にさかのぼります。年々子どもたちの受験に対するスイッチが入る時期が遅くなってきていることに対して、通常授業だけでは十分な対応ができないと危機感を持ったことがきっかけでした。月に1回集まり、受験勉強において大切なことを伝え、自主学習のペースメーカーとなるような課題テストを実施。そして、実力テスト・模擬テストの過去問に取り組んできました。

9月の講座で受験生に厳しいことを伝えたところ、10月には見違えるような取り組みをしてくれたことを嬉しく思っています。

もちろんここがゴールではありません。最後まで油断せず、全員でやり切りましょう。

☆高校生☆

高校生のみなさんの課題は「中学生に比べてテスト範囲が広がったが、どう対応するのか？」ということです。少しですがアドバイスをさせていただきます。

・ テスト範囲が広すぎる

基本的に1、2日だけ勉強しただけでは間に合わないの、テスト本番の3週間前から計画を立てる。そして予備日を2日作っておく。予定通りにいかなかったら予備日を使えばいいし、予定通りにいったらその2日を有効に使えばいい。

・ 理系の教科について

問題を見て解く時に、頭で考えてから答えを見て確認をするという勉強法はしない方がいい。必ず書くこと。書いてみたら意外と書けないことが多いから。(特に数学)

テスト勉強には問題集を使うことが多いと思うが、自分ができる問題は確認程度で早く終わらせて、できない問題をたくさんする。できる問題を解いても時間の無駄なので、わからない問題をできるようにするという意識が大切。とにかく効率よく問題を解くことが大事。

・ 英語

英単語を毎日 20 個は覚えた方がいい。英単語を知らないと読めないし、問題も解けない。また、英語の長文もなんでもよいので毎日読む。1 週間も読んでいないと感覚が鈍る。

・ その他

テスト前に限らず、睡眠時間を 6~7 時間は取る。授業をしっかり聞いていれば問題を解くのに困らなかったのに、授業で寝ていて聞いてなかったとなると無駄に勉強する時間が必要になる。

朝ごはんは必ず食べる。朝ごはんを食べていない生徒の成績がよかったというケースは今まで聞いたことがない。食べないと元気もでないし、授業も集中できなくなるので、食べていない人は気を付けた方がいい。

普段の生活で効率的な勉強ができるように取り組んでいきましょう！

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。
塾を探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

【高1~3】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	1名(11月末で1名の空きがです。)
【高校受験 中1】	3~4名
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	若干名
【中学受験 小4】	若干名
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujiyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujiyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujiyuku/>